



まんぼう 万防ニュース

万引きをしない!させない!許さない!

令和6年第2号
令和6年2月26日発行
埼玉県万引き防止官民合同会議
埼玉県警察本部生活安全総務課

令和6年 埼玉県万引き防止官民合同会議 オンラインによる総会開催



令和6年2月6日(火)、令和6年埼玉県万引き防止官民合同会議総会をWeb会議(Zoom)で開催しました。

総会では、東北大学データ駆動科学・AI教育研究センター助教大山智也氏からリモートで「万引きを防ぐ店舗レイアウト：実証実験による効果検証」について講演をいただきました。



講演内容のPoint

- 監視性の確保に向けたレイアウト変更実験
従業員や客による監視が費用・実現可能性の面で優れる
防犯環境の構造として、レジ(従業員)からの監視性(可視性)を確保
実証実験：損失率の高い商品を配置変更
→ レジから見える場所へ。実験では損失率の減少効果が
レジからの可視性など、監視を促進するレイアウトが有効
- 万引き抑止にむけたナッジ/仕掛け学の活用
誰に向けた「メッセージ/仕掛け」か(店内表示内容の検討)
”ちょっとした工夫”で人の行動を変えるアイデア
犯人? → 「過去に万引き犯を検挙した」、「捕まると悲しむ人が…」
利用客? → 「不審な行動を見つけたら、従業員まで。」
レイアウト変更が難しい場合でも、抑止に有用かも

check

万引き犯人の声掛け時や確保時の反撃に注意を!!



万引き犯人に対する声掛け時や確保時に不意の反撃を受けた強盗事件は、令和5年中に県内で発生した強盗事件の約4分の1(※)を占めています。幸いにも重傷に至った事件はありませんでしたが、万引き犯人は従業員に怪我をさせてでも逃げようとするため、従業員に対しては身の安全を第一にした万引き犯人との対応を引き続き、指導してください。

※生活安全総務課調べ